

教育相談  
072-924-3892

情報推進  
072-992-3910

研究・研修  
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>  
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

## 保育のための基本講座—幼小連携—①

テーマ 「学びに向かう力を育てる～主体性・互恵性とアクティブラーニング～」

講師 兵庫教育大学 准教授 鈴木 正敏 さん

日時 平成29年1月11日（水）15：15～17：00

場所 八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室

本研修は、八尾市立学校園や八尾市内の私立幼稚園、八尾市内の公立及び私立保育所（園）、認定こども園の教職員を対象に行いました。この研修は保育の質を高めるための基本となる技術の向上を図ることを目的として実施しており、当日は90名の参加がありました。

今回の研修では、主体的で互恵的な幼小連携の重要性について、御講義頂きました。データを元に子どもの行動を分析したお話や、先生自身の具体的なエピソード、また幼稚園教育要領の改訂にも触れられ、とても充実した内容でした。

受講後の感想には、「子ども主導だけでなく、そこに教師がどう援助をするかが大事であることの大切さを改めて感じました」「幼少期に解決されなかった事が、小学校・中学校だけではなく大人になっても影響することがあるということを知って驚きました」「今後、こども園開設に向けて幼児教育の形が大きく変わる時期なので、大切にしている部分をしっかりもち、保育力を高めていきたいと思います」等がありました。

## 首席・指導教諭研修 ②

テーマ 「実践から学び、より取り組みを進めるために」

講師 奈良教育大学 准教授 赤沢 早人 さん

日時 平成28年12月22日（木）14：00～16：00

場所 八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室

この研修は、各校の首席・指導教諭を対象に、学校の中核となる人材の資質向上と、新たな教育課題等を踏まえ、学校全体のあり方について考えられるミドルリーダーの育成を目的として実施しています。第1回に引き続き赤沢先生を講師としてお招きし、授業改善について御講義頂きました。

第1回の研修の際には、授業改善を学校全体で進めるために必要となる視点や「創発協働型授業力向上メソッド」と呼ばれる授業カルテや勤務校プロフィール、授業提案書の紹介がありました。

受講者には研修で学んだことを活かして、学校における授業改善を推進するようお話しされました。

第2回の研修では、受講者それぞれが実践した内容について資料を作成し、グループ交流や全体報告をしました。

全体報告のあと、赤沢先生から、講評と、取り組みをより推進していくための方策についてお話を頂きました。

受講者からは、「実践交流や全体交流より、話しやすい雰囲気づくりやそのための日頃からの働きかけが大切だと改めて感じた。若手を含め、全教職員が『子どもたちの目指す姿』『そのためのめざす授業』を明確に持つことの重要性、また共通認識を図ることが取り組みの第一歩だと感じました。」「授業改善のPDCAを実施しながら、首席として校内の人間関係を整理し、機能させていけるようにしたいと思いました。校内の現状を把握し、授業改善リーダーとして、何ができるか見定めて、実行していきたいです。」「公開授業のあり方を工夫する、組織的な研究体制を構築していくなど、非常に有効な手立てと感じる実践も多々ありました。めざす授業の姿・校内組織・授業改善という点で、また本校の取り組みも見直していきたいと思います。」等の感想がありました。



## 学級経営指導力向上研修（集団作り・レクリエーション）

テーマ 「学級集団づくりに活かせるレクリエーション  
～先生のためのコミュニケーションワーク～」

講師 （公財）大阪府レクリエーション協会 公認講師 小西 基陽子 さん

日時 平成29年1月13日（金）15：30～17：00

場所 八尾市立教育サポートセンター 3階 講座室

この研修は、八尾市立学校園の教職員を対象に、学級経営・集団づくりの技術向上を目的として実施しています。当日は、場の雰囲気を和ませることによってコミュニケーションを円滑にし、その後の活動をより効果的に展開するのに役立つ遊びやゲームについて学びました。

授業後の感想として、「低学年が出来るような簡単なゲームや高学年向けのゲームなど様々なレクリエーションを知ることが出来ました。実際にゲームをすることで、そのゲームの楽しさを体感した上、講師の先生の指導の仕方、話し方も勉強になりました。」「室内や屋外で出来るさまざまな遊び、アレンジの仕方など、たくさんのお話を学ぶことが出来ました。レクリエーションの基本ということでしたが、先生自身が楽しいと思える遊びを子どもたちに指導していく大切さを改めて感じました。」等がありました。

